

2021.1.9-10希望創発研究会（1月例会・オンライン）を実施

ホーム > 希望創発研究会 > 例会実施報告

希望創発研究会

教育研究システム

研究テーマ

研究会スケジュール

例会実施報告

参画メンバー

参画メンバー募集について

2021.1.9-10希望創発研究会（1月例会・オンライン）を実施

公開日 2021年1月21日



1月9日（土）-10（日）、希望創発研究会（1月例会・オンライン）を実施し、企業人17名、学生17名、その他関係者31名の計65名が参加しました。

1日目

8月から6ヶ月経過し、各チームが検討している内容や進捗状況を互いに共有するZIGZAG（ジグザグ）を実施しました。

まず初めに、各チームから1～2分で全員に対して報告を行った後、6～7名の小グループに分かれてじ

つくりと、質疑応答の対話セッションを行いました。

ZIGZAG (ジグザグ)

チームの1名が自チームを代表して他チームメンバーに取組内容等について対話し、その内容を自チームに報告するワークショップです。

(紹介5分、対話17分、コメント作成3分：計25分) × 3名 or 4名

【4名チーム】	【3名チーム】
▶ 1回目 (10:15～10:40)	▶ 1回目 (10:15～10:40)
▶ 2回目 (10:40～11:05)	▶ 2回目 (10:40～11:05)
▶ 3回目 (11:05～11:30)	▶ 3回目 (11:05～11:30)
▶ 4回目 (11:30～11:55)	▶ 全体で意見交換 (11:30～11:55)

ブレイクアウトルームにて
計9チーム

1日目午後から2日目

各チームに分かれてチーム対話を行いました。ZIGZAGで得られた、報告に対する文脈を全く共有していない他者からの目線、フィードバックから得ることの大きさを実感し、改めて自分たちのチームテーマの深堀ができたようです。

本年度の研究会も残すところあと2回になりました。皆さんの想いの詰まった議論がどのように進むのか、楽しみにしています。



<参加者の声>

- ・ 論点に立ち返ることで、自分でも曖昧であった本当にしたいことを明確できた。それぞれの思いを確認し共有することで、チーム内での齟齬が少なくなったように感じた。
- ・ 多グループの取り組みを聞くことで、自グループの不足点／思考の偏りが顕在化された。
- ・ 今まで自分の内にあるものを発散するだけだったが、課題についての現状を、数字や人々の意見を情報として取り入れることでより深掘することができたと思う。本当にしたいことは何だったのか？誰を助けたいのか？を考えられる良いきっかけになった。

[トップページへ戻る▶](#)

希望創発センター

Center of Education and Research for Hope-Emergence

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1
国立大学法人 高知大学 学務課
学習・研究サポート係（希望創発センター）
TEL:088-844-8440

© 2019 高知大学希望創発センター